



「志」(こころざし)

志あるところに目標あり。
目標あるところに決意あり。
決意あるところに行動あり。
行動あるところに成功と失敗あり。
成功と失敗あるところに試行錯誤あり。
試行錯誤あるところに進歩あり。
進歩あるところに希望あり。
希望あるところに輝く未来あり。

学校教育目標

「人を大切に、物を大切に、時を大切に」
～発信力・行動力を身につけ、
自己肯定感を得られる生徒の育成～

「本気の志」人類が誕生して以来、一つのことを本気で取り組んでいる人の姿を見て、心を動かさなかつた人はいません。吉田松陰の言葉です。一人の人間には多くの可能性があります。ただ一人、自分が、「自分の可能性」を制限できます。生まれてから今日までの自分が、これから自分の行動を決定し、過去の経験から常に的確な助言をしてくれます。

過去の自分の言ことを聞けば安全で安心です。しかし、安心で安全な居心地の良い場所にい続ける限り、新しい刺激に弱くなり、だんだん感性が鈍ってきます。今、手にしている現実は、過去の努力や選択の結果です。そして未来は、今まさに心で決めしたことによって決まります。1072日。3年前の入学式4月9日から卒業式まで、3年生がこの桂川中学校で過ごす日数です。駆け抜けてきた時の記憶の一つひとつが皆さんの胸を熱くさせていると思います。涙に濡れた日、悔しさに唇を噛んだ日、喜びに抱き合った日。桂川中学校で過ごした1072日をどうか誇りに思い続けてください。そして、桂川中学校という慣れ親しんだ場所から出たとき、自分にとっての本当の人生がはじまります。「志(こころざし)」をもち、大切な人生を精一杯生きてほしいと思います。



2011年3月11日、テレビに映し出される映像に目を疑い心が痛くなったことを今ではっきりと覚えています。東日本大震災から10年が経ちます。この震災による死者・行方不明者は2万人を超える、今なお多くの人々が避難所生活やふるさとに戻れず生活をされています。空前の出来事に人々は言葉を失いましたが、被災地の報道の合間にテレビで流れた一片の詩に耳を傾けました。

「こころ」は だれにも見えないけれど 「こころづかい」は見える

「思い」は 見えないけれど 「思いやり」は だれにでも見える

その気持ちをカタチに



ACジャパンのCMです。前2行は、詩人「宮澤章二」さんの『行為の意味』という詩から抜粋要約したフレーズです。この短いナレーションが流れ、「電車の中で、妊婦さんに席を譲る女性を見かけ、その後、自ら街で急な階段を昇るお年寄りの手を引く高校生の姿や情景」が描かれています。高校生の表情から葛藤が伝わってきます。未だかつて経験したことのない衝撃と悲しみに覆われていたときに、テレビに流れた映像とこの一片の詩。私たちに「こころづかい」や「おもいやり」、そして「生きること」の大切さを教えてくれ、人として本来のるべき姿を思い起こさせてくれたのです。心を言葉に、心を行動に。思いを言葉に、思いを行動に。

明日は3月11日。楽しい時を過ごすとともに、午後2時46分で止まった「時」も忘れないでほしい。